

謝辞

私は小学二年生から書字書道を学び始めました。幼少の時から文字を書くのは好きでした。習い始めは遅い方でした。特に目標というものはなくひたすらに文字を書き込み練習に励むことが好きだったと思います。二年ほど過ぎた頃書字書道コンクールで上位入賞を果たすことができた時のように、次第に誰にも負けたくないという気持ちから私の原動力になりました。日々の授業や大会の練習も全力で取り組みました。書道の教室には同じ学年でお互い刺激を受け、仲間がたくさんおり、また大会で結果が出た時嬉しい時はわけてはありません。悔いでも書字書道を通して学びました。一か一それごとくも良い心の成長につながり、私にとって神の恵みで、続けられ、我慢強さも身につけられたと思います。先生方も私がくっつけそうになつた

時には声を掛けてくださり、その言葉が大きな励みになりました。そして良い結果が出た時には先生も家族も自分の事のように喜んでくれました。私はそれがすこく嬉しくて学ぶことの喜びを実感しました。私は大好きな書道を活かして、ご当地アイドルMinko・ガールズの活動を設立メンバーとして、七年間続けております。地域の活動や県の広報活動を通して、皆さんの事を体験し参加することができ、また二日警察署長一日消防長の体験を通して私たちの広報活動の重要性やその中で書かせていただいた書道作品にも説得力や価値を見出していただき、もうようになり自分の学んでいくことへの感謝の気持ちから、さらに膨らみました。

昨年はアメリカ合衆国ネバダ州ラスベガスでおこなわれた「コシバニクスステバル」への参加もさせていただき、現地では書字書道のすばらしい文化を体験し、と声を掛けていただき、短い期間

で、文化を伝える事の重要性を強く感じました。Minko・ガールズの活動を通して、もっと広く世界に向けて伝えていきたいと強く思い、今以上に頑張りたいと考えております。

今回文部科学大臣賞をいただいたのは、通っても教室の内藤先生、晴美先生、佳美先生。さらには先生でもあり、Minko・ガールズのリリーゲでもあら、優ちゃんののおかげだと思います。また練習の時にサポートをしてくれた家族の支えは、心より感謝しております。

さらに書字学校の先生方、審査をして下さった先生方に感謝申し上げます。今後も学びの精神を忘れず、努力精進してまいります。本当にありがとうございます。

平成三十年二月十八日
館林市立第二中学校 三年
山中優依

